

## 阪急阪神百貨店の全店舗に富士通のPOSソリューションを採用し、 顧客の買い物体験を向上

### ～ 無線タブレットPOSで、接客から決済まで「ワンストップ」の買い物体験へ ～

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社（注1）（以下、H2O）と富士通株式会社（注2）（以下、富士通）は、H2O傘下の阪急阪神百貨店の全15店舗に対し、富士通のPOSソリューションを活用した無線タブレットPOSシステム（以下、本システム）を構築しました。

本取り組みでは、非食品売場に約5,000台のタブレット端末、食品売場に約400台のPOS専用端末を展開し、百貨店におけるタブレットPOSシステムの導入数としては国内最大級の規模となります。本システムの導入により、販売員はレジ決済のために自身の売場を離れることなく、接客から決済までをワンストップで完結できる環境が整いました。販売員がお客さまに向き合う時間を確保し、サービスの向上により百貨店ならではの付加価値の高い買い物体験の提供を目指してまいります。

### ◎ 本システムの概要と効果

本取り組みで構築したシステムは、富士通の事業モデル「Uvance」の顧客接点情報の一元化を目指すオフライン「Unified Commerce」から提供されるPOSソリューションを導入しています。このシステムを共通基盤とすることで、据置型POSとモバイル型POSで異なっていた画面や操作性が統一されました。

これにより、以下の3点を実現し、業務効率化と顧客体験向上につなげます。

- 販売員が統一された操作体系で業務を行うことによる、複数の操作方法習得に伴う負荷および研修工数の削減
- 無線タブレットの導入による、接客から決済までを同一売場で完結させるオペレーションの確立と、よりスムーズで快適な買い物体験の提供
- SIM搭載タブレット端末の活用による、催事・外商活動・移動販売における店外でのPOS増設の柔軟化と、店内と同一システムを用いたサービス品質の維持

また本システムはクラウド環境上に構築され、年間の取引数に応じた従量制ライセンスのビジネスモデルを採用しました。これにより、売場の繁閑や需要に応じてPOSシステムのリソースを柔軟に変更でき、適正なコスト管理と安定した運用を両立します。繁忙期においても安定した決済環境を維持することが可能になり、お客さまにとって快適でスムーズな買い物体験を提供します。

### ◎ 今後の方向性

H2Oは今後、阪急阪神百貨店において本システムと、顧客カルテや接客支援ツールなどの他の業務アプリを同一端末に搭載することを検討しています。さまざまな接客シーンで必要となる情報参照やアクションをワンストップで実行できるようにし、より質の高い顧客体験の創出を目指します。

富士通は、社会課題を起点とする事業モデル「Uvance」のもと、データ&AI を軸に、購買を取り巻く体験と供給網の双方から顧客と社会の課題解決に取り組みます。顧客の快適な購買体験や購買に携わる従業員の業務効率化を支援する Experience Cycle と、サステナビリティに配慮したレジリエントな購買の供給網の実現を目指す Supply Chain Cycle を連動させ、複雑化する顧客接点を統合し、オムニチャネルにおける情報の一元管理を実現することで、顧客・生活者体験の高度化を前進させるとともに、持続可能な社会の実現に貢献します。

## 【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

## 【注釈】

注1：エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

本社 大阪府大阪市北区、代表取締役社長 荒木 直也

注2：富士通株式会社：

本社 神奈川県川崎市中原区、代表取締役社長 時田 隆仁

## 【関連リンク】

Unified Commerce 紹介サイト：

<https://global.fujitsu/ja-jp/offering/omni-channel-services>

## <本件に関する報道関係者お問い合わせ先>

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

コーポレートコミュニケーション室 メディアリレーション部 TEL 06-6367-3181

富士通株式会社

お問い合わせフォーム <https://contactline.jp.fujitsu.com/customform/csque04802/873532/>